

平成29年度岡山桃太郎空港の利用実績について

平成29年度の岡山桃太郎空港の利用者数は、台北線の相次ぐ増便やソウル線のスケジュール変更により、国際線利用者数が大幅に増加したことから、10年ぶりに150万人を超え、1,521,785人《対前年度比105.7%》となった。(以下、《 》内は対前年度比)

1 国内定期路線

利用者数は好調に推移し、各路線とも前年度を超え、1,254,747人《102.5%》となった。

(1) 東京線

年間を通じて好調であったことから、前年度より増加し、1,085,448人《101.8%》となった。

航空会社別では、全日空が656,155人《100.9%》、日本航空が429,293人《103.3%》であり、日本航空は平成14年の就航以来最多を記録した。

(2) 札幌線

夏期の利用が好調であったことから、全体の利用者数は前年度より増加し、5年連続で7万人を超え、75,130人《106.4%》となった。

(3) 沖縄線

搭乗率8割を超える人気路線であり、4年ぶりの臨時増便も実現したことから、利用者数は前年度より増加し、94,169人《107.9%》となった。

2 国際定期路線

台北線の相次ぐ増便やソウル線のスケジュール変更により、利用者数が大幅に増加し、開港以来最多の258,034人《122.2%》となった。

(1) ソウル線

昨年7月からインバウンド向けのスケジュールとなり、旺盛な訪日需要を背景に利用者数は、5年ぶりに10万人を超え、102,007人《120.0%》となった。

(2) 上海線

年間を通じて好調であったことから、前年度より増加し、56,432人《104.7%》となった。

(3) 香港線

本格的なインバウンド路線として、一昨年3月に就航し、同年7月に毎日運航から週2往復となったが、その後は高い搭乗率を維持しており、利用者数は29,662人《73.5%》となった。

(4) 台北線

一昨年7月に週3往復で就航し、昨年度の相次ぐ増便により先月末には毎日運航が実現した。増便後も利用者数は好調に推移しており、69,933人《218.9%》と大幅増となった。

3 チャーター便

国内外に99便が運航され、利用者数は9,004人《203.7%》となった。

国際チャーター便は、高雄(台湾)からの連続チャーターなど52便が運航され、利用者数は大幅に増加し、6,095人《292.6%》となった。

国内チャーター便は、北海道、与那国島・宮古諸島など47便が運航され、利用者数は2,909人《124.5%》となった。

平成29年度岡山桃太郎空港利用実績集計表

1 国内定期路線

(単位:人, %)

路線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
東京線	1,085,448	+19,289	101.8	72.8
札幌線	75,130	+4,521	106.4	72.1
沖縄線	94,169	+6,868	107.9	81.7
計	1,254,747	+30,678	102.5	73.3

2 国際定期路線

路線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
ソウル線	102,007	+17,006	120.0	70.0
上海線	56,432	+2,523	104.7	66.5
香港線	29,662	▲ 10,687	73.5	82.2
台北線	69,933	+37,981	218.9	83.4
計	258,034	+46,823	122.2	73.6

※台北線は、H29. 6. 16～増便（3往復/週→4往復/週）
 H29. 10. 31～増便（4往復/週→5往復/週）
 H29. 12. 20～増便（5往復/週→6往復/週）
 H30. 3. 25～増便（6往復/週→7往復/週）

3 チャーター便

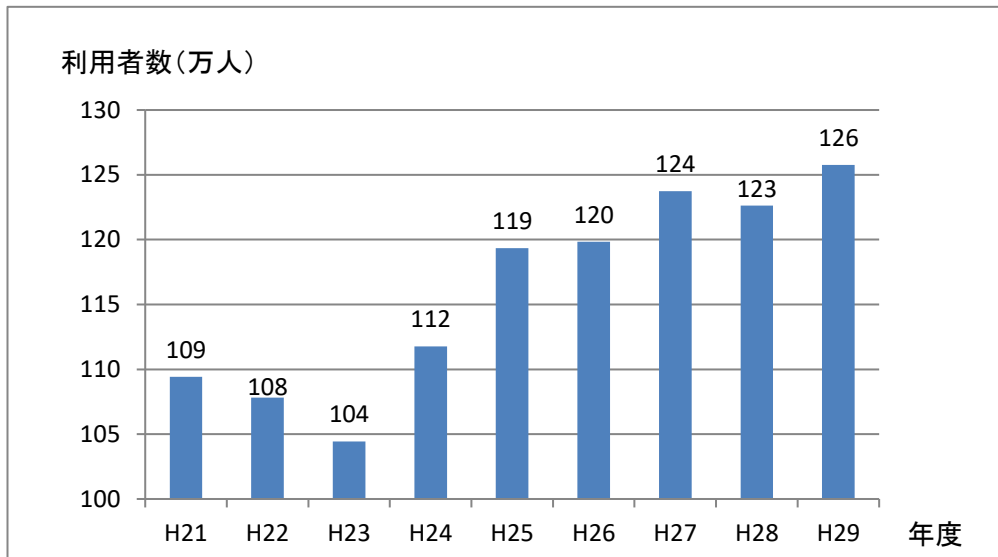
路線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
チャーター便	9,004	+4,584	203.7	72.4

4 総計

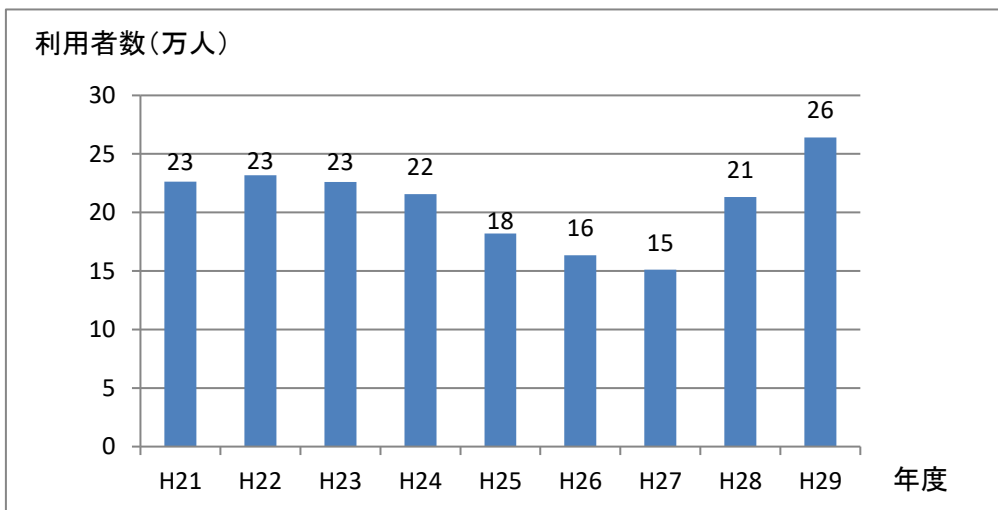
	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
総計	1,521,785	+82,085	105.7	73.4

岡山桃太郎空港利用者数の推移

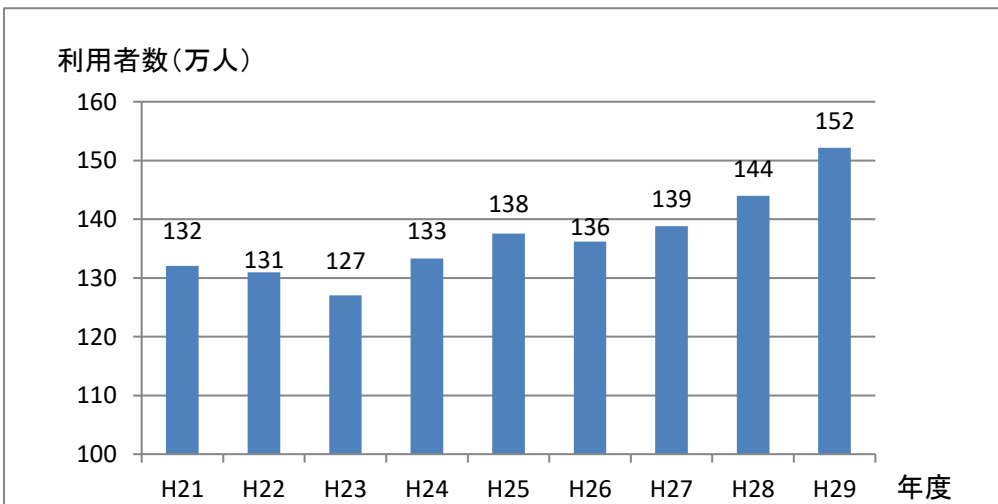
1 国内線



2 国際線



3 国内線+国際線



※利用者数には、チャーター便を含む。